

第72回新型コロナウイルスに関わる対策本部会議議事録

1 開催日時 令和4年7月29日(金) 午後3時30分～午後4時30分

2 開催場所 浦安市役所 災害対策本部室

3 出席者

本部長：市長

副本部長：両副市長

本部長：危機管理監、消防長、教育長、総務部長、企画部長、財務部長、
市民経済部長、福祉部長、健康こども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長、
教育総務部長、生涯学習部長、会計管理者、議会事務局長、監査委員事務局長、選挙管理
委員会事務局長

(事務局)

健康こども部、総務部

4 議題

- (1) 状況報告(感染者の状況)
- (2) 新型コロナワクチン4回目接種の対象者の拡大について
- (3) オミクロン株対応ワクチン接種について
- (4) 新型コロナウイルス職員罹患時等の対応マニュアルについて
- (5) その他
 - ・新型コロナワクチンの接種状況について
 - ・保育所等における特定調査について
 - ・市川保健所への応援について
 - ・新型コロナ感染症拡大に伴う抗原検査キットの配備について

5 議題の概要

- (1) 状況報告(感染者の状況)し、感染者の情報を共有した。
- (2) 新型コロナワクチン4回目接種の対象者の拡大について情報を共有した。
- (3) オミクロン株対応ワクチン接種について情報を共有した。
- (4) 新型コロナウイルス職員罹患時等の対応マニュアルについて情報を共有した。
- (5) その他
 - ・新型コロナワクチンの接種状況について情報を共有した。
 - ・保育所等における特定調査について情報を共有した。
 - ・市川保健所への応援について情報を共有した。
 - ・新型コロナ感染症拡大に伴う抗原検査キットの配備について情報を共有した。

6 会議経過

(1) 状況報告

本部員：直近7日間10万人あたりでは、7月21日現在の市の感染者数は1020.2人であり、一昨日から1,000人を超えている。市川市1,094.1人、以降は28日現在で船橋市1243.7人、江戸川区1,475.4人、千葉県1,013.4人、東京都が1,574.8人。学校等の直近3週間の感染者数は保育・幼稚園等205人、小学校503人、中学校127人の合計1,022人と、3週間で1,000人超えの感染者が出ている。グラフでは、7月8日～14日で224名、7月15日～21日で434名、7月22日～28日で210名となっているが、発症日ベースのため、今後も積み上がっていく可能性がある。

本部長：400人を超えと思われた本日の感染者数は予想より少ないが、感染が拡大しているのは各保育園・幼稚園等の感染状況を見れば明らかなので、引き続き注意すること。

(2) 新型コロナワクチン4回目接種の対象者の拡大について

本部員：7月22日付で国より、医療機関や高齢者施設・障がい者施設等の従事者に対する4回目接種を速やかに実施する必要があるとして通知があったことを踏まえ、市として対応をとるものである。対象人数は、医療従事者等約5,000人、高齢者施設等従事者約1,000人、計6,000人となる。現状について、令和4年8月の予約枠が約8,000枠あることから、追加6,000人に対しての接種も現状の体制で対応できると判断した。接種券及び予約については、医療従事者・高齢者施設従事者等を含めて基本的には申請方式とする。ただし医療機関においては、医療機関が取りまとめて申請を行う。接種対象範囲について、国では「重症化リスクが高い多くのものに対してサービスを提供する従事者」としていることから、市の職員として、消防職員、集団接種会場の応援職員、高齢者や障がい者の対応を行う福祉部職員の一部を対象とし、今後担当課より案内を行う。本日承認をいただき次第、ホームページ等で周知を行い、速やかに開始したい。

本部長：この件に関して何か意見はあるか。意見がなければこの方向で行くということでこの場で決定する。

(3) オミクロン株対応ワクチン接種について

本部長：7月22日付通知並びに7月26日の自治体向けの説明会において、厚生労働省からオミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保について、各都道府県及び市町村でも接種体制の準備と関係機関への周知を行うよう通知があった。接種対象者は初回接種を完了したすべての住民とされ、本市においては136,787人（5歳～11歳の初回接種者を除く）となる。今回はこのうち約8割の11万人の接種を想定する。接種間隔については、まだ国から示されていない。使用ワクチンとして、オミクロン株対応のファイザー社製、モデルナ社製の2種類を想定する。課題として、国では秋口の実施を検討しているが、市では4回目の接種の期日を9月30日としているため、期限を延長する必要がある。接種間隔を5か月とすると8万人以上が接種対象となるため、9月30日以降も日の出ワクチン接種センターで実施するが、文化会館についても集団接種会場としての期間を延長したいと考えている。また、これら体制確保の予算が必要となるため、補正予算を9月議会に上程する。

本部長：ワクチン接種センターだけではオミクロン株の接種が難しいとのことだが、文化会館の状況はどうか。

本部長：現在、行政で先行して予約したものが多く入っているが、接種会場として利用となると、これらは全てキャンセルとなる。予約している所属に関しては、代替施設の検討・予約をお願いします。今回の文化会館の予約キャンセルについては、生涯学習課で対応する。この件については、会議終了後、グループウェア上で周知を行う。また、工事については、10月末までには終了する見込み。

本部長：選挙管理委員会が4月に市議選・県議選で利用する予定のため、文化会館のホールは使用しないでいただきたい。

本部長：オミクロン株接種について公表することで4回目接種をためらう人が出るのではないか。

本部長：接種間隔5か月とすると、今接種をすると年明けまでオミクロン株対応ワクチンが打てなくなるため、その可能性はある。コロナウイルスが流行している状況下、接種可能な人には接種してもらいたいと国は考えている。国からの通知を注視したい。

(4) 新型コロナウイルス職員罹患時等の対応マニュアルについて

本部長：職員が濃厚接触した場合の対応について、これまで陽性者との最終接触日の翌日から7日間としていたが、国の通知を受け5日間に変更した。職員が濃厚接触者となった場合の在宅勤務は5日間となる。

本部長：オミクロン株の特性を踏まえた国の方針を受けての修正となる。各所管において、職員への周知をお願いする。

(5) その他

・ワクチンの接種状況について

本部長：1・2回目接種の接種見込率については、5～11歳で21.3%となり、先週比で1%程度増加している。12歳以上は89.4%となっている。3回目接種の接種見込率も12～17歳で40.5%と、先週の38.2%から増加して40%台となった。18歳以上は74.5%となっている。また、60歳以上または基礎疾患を持つ人を対象とする4回目接種については接種希望数が26,024人となり、先週の20,732人から接種者または予約者が5,000人程増加した。

本部長：ワクチンの接種者は増加傾向にある。職員においても接種可能な方には積極的に接種していただきたい。

・保育所等における特定調査について

本部長：国により7月20日付で「今後は保健所による濃厚接触者の特定を行わない」と方針が示されたことから、7月26日より、園児及び職員の感染が判明した場合にも原則として濃厚接触者の特定及び休園を行わずに継続運営をする。今までは陽性者が発生した場合に休園等の措置をとっていたが、今回の国の通知に伴い、この措置を解除する。市の要請で休園となった場合の保育料減免措置は今後取りやめる。ただし、クラスターや職員不足により運営が困難となった場合は閉園を要請することが想定されるため、その場合は今まで通り保育料の減免を行うこととする。以上の内容について、7月26日付で保護者に対し通知を行っている。他市の状況としては、市川市・柏市・江戸川区では浦安市同様に休園措置を行わないとしている。船橋市では保健所がこの件について対応している。習志野市は現在検討中とのことで、他市でも対応に差が出ている状況である。

本部長：「保育所等」とあるが、「等」にはどのような施設が含まれるのか。

本部長：保育園のほか、幼稚園、認定こども園がある。学童については、県からまだ濃厚接触者の判定を続けるよう指示が出ているため、今回は対象外となる。

本部長：学校等では濃厚接触者の判定を行うのに、保育所等では行わないのは何故か。

本部長：保護者の就業等を妨げないことと感染のリスクとのバランスを考慮した結果、千葉県の方針として保育所等の休園を行わない方向に舵を切ったものと理解している。

本部長：保育所等が独自に濃厚接触者の判断を行い、対象の園児を休ませる等の措置ができなくなるということか。

本部長：複数名感染者が発生した場合等に、保育所等が休園の判断をすることを妨げるものではないとの回答を得ている。もしクラスターが発生した場合は保健所の介入となる。

本部長：東京都内では、保育所等だけでなく小学校においても同様に濃厚接触者の判断を行わない対応をとる自治体もあった。

・保健所への職員派遣について

本部長：7月25日から開始している保健所への応援職員については、保健師11名、事務職11名のうち、1日4名を9時～16時30分まで派遣し、保健所で業務を行っている。

・抗原検査キット配布事業について

本部長：抗原検査キット無償配布については、本日小学校が最後の登校日であるため、保護者に案内を配布している。配布は8月3日から開始し、お盆期間中の学校が開いていない日には市役所の保健体育安全課にて配布する。キットはすでに1,500個が納品されている。その他645個を危機管理課で保管しているが、こちらは私立の中学、市内高校、小学校の部活・習い事等で不安がある場合配布を考えている。8月2日には追加で3,000個納品があるため、介護・障がい者サービスの事業所に配布できるよう体制を整える。

本部長：抗原検査キットの配布希望を調査した結果、介護事業サービス事業者は市内114社のうち66社が、障がい者サービス事業者は市内40社のうち40社すべてが抗原検

査キットの配布を希望しており、現在配布を希望する事業者の職員数を集計している。

本部長：ほかに何かあるか。

副本部長：抗原検査キット配布について、千葉県より指摘があったが、目下の感染急拡大、医療体制のひっ迫、市民の不安増大、県や国の配布事業の停滞といった点を踏まえ、市の配布事業は有意義なものであると考える。県との間に法律上の見解の相違はあるが、市としての立場は一定の整理をしており、予定通り事業を進めていくものである。

副本部長：市内医療機関が非常に切迫しており、東京ベイ医療センターでは救急対応をしていた医療従事者の半数の50名程度が新型コロナウイルスに罹患したため7月29日～8月6日までの間、夜22時～翌朝7時まで救急の受け入れを停止するとの連絡が来ている状況である。

本部長：検査キットは8月1日・2日で学校に配布し、3日から本格的に希望者への配布を行う。

本部長：ほかに何かあるか。

本部長：市職員の状況について、現在約80人が罹患しており、今後感染する職員が増加することを懸念している。市民生活に必要な行政サービスが提供できなくなる可能性があるため、各部局において職員の調整・配置計画を行い、万が一感染者が発生した場合の体制整備をお願いしたい。このことについては改めて通知する。

本部長：BA5対策強化宣言については、早ければ今夜、遅くとも火曜日に国において決定される。来週早々に各都道府県が発出に向け動き出す見込みである。内容は、高齢者・妊婦・基礎疾患のある方・周辺にいる家族等への外出自粛のお願い、ワクチン接種の推奨となる。福祉部・生涯学習部においては、高齢者のカラオケなどに対し、県が自粛要請をかけた場合の対応について協議してほしい。各事業においても、リスクの高い場所に行かないよう、徹底をお願いしたい。健康こども部では妊婦が参加する事業もあるため、実施方法を含め改めて考えてほしい。

7 決定事項

- ・新型コロナワクチン4回目接種の対象者拡大については、医療従事者等や高齢者施設従事者等が、速やかに接種することができるよう接種券等を準備すること。
- ・オミクロン株対応ワクチン接種については、今後の国の動向に注視するとともに、初回接種を完了した対象者が接種開始時期に滞りなく接種することができるよう予算や接種会場の確保など、接種体制を構築すること。
- ・新型コロナウイルス職員罹患時等の対応マニュアルについては、国の方針に基づき、濃厚接触者の待機期間の見直しを行う。